



ピット・イン ニュース

2014年 11月号 Vol.40

車検・修理の飛込OK! 代車いつでもあります!!

今年も早いものであと2ヶ月。これから寒さ本番、体調管理に気をつけましょう。

カープがクライマックスシリーズ(CS)で阪神に敗戦し、シーズンが終了orz 思えば、リーグ2位をかけた巨人との最終戦とCSでの阪神戦、マエケンで2連敗だったので納得?の敗退ですわ。この連敗だけで彼を戦犯扱いする気もないですが、なんせエースですから悔しいです。彼の目線はもうメジャーリーグなんですかね? カープの為にというより、自分のプライドをかけてもう1年投げてくださいませんか?そして黒田の帰還も期待して... それはそうと、サンフレのシーズンはまだ終わっていませんよ。リーグ戦は望み薄ですが、3大タイトルの1つ「ヤマザキナビスコカップ」の決勝が11/8と迫っています! 是非タイトルを取ってほしいですね。



何思う、マエケン



Nov

土砂災害・最前線のルポルタージュ

まずもって、今回の土砂災害でお亡くなりになられた方へ、心よりご冥福をお祈りします。

9月某日、土砂災害の復興ボランティアに行ってきました。

TV報道でボランティアの方々が土木作業をがんばっている姿を見て、「このまま行動を起こさなかったら一生後悔するな...」と自分も手助けがしたくて毎日モヤモヤしていました。

そんな折、被災エリアにお住まいの知合いの方が、ほぼ毎日復興作業を手伝っていると聞き「それなら僕も行かせてください」、ということをやっと向かうことができました。



↑こんな光景が広がっています。裏返った車は、車種も判別不能



↑中央の溝は川ではありません。道路が地面ごと流されたんです。ですからこの地域の方は、車はもちろん、自転車も無理。

被災したか、しなかったかは、ほんの数メートルの差です。様々な方面、年代の方が手弁当で集まっていた。当日私に任せられた使命は、先人のボランティアが詰め込んで道端に積んでいた(土のう)を、一箇所にまとめる作業から。バケツリレーならぬ(土のう)リレーを延々と行います。腰に来ます...その後、泥のかき出し作業など、みんなクタクタになるまでがんばりました。

確かに甚大な被害でしたが、一人暮らしのお年寄りの家を、我々ボランティアを含め地域ぐるみで復興作業している様を見て、浅い付き合いしかなかった近所に絆が生まれ、以前には無かった結果ができていたと感じました。この絆は今後必ず生きてくるでしょう。家が流され、2ヶ月以上たった現在も不自由な避難生活をされている方が大勢いらっしゃいます。少しでも早く元の生活に戻れる日が来ますよう、お祈りしています。

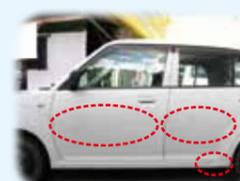


↑これが松岡

ユウシンのお客様が数台被災されました。これはその中の1台です。



お客様からいただいた災害現場写真。段差から落ちそうなのがお客様の車です。土石流で車が玉突き状態となり車と車にはさまれた形で損傷したとのこと。冠水していませんでしたので、幸いにも走行は可能。よって修理のご依頼です。



前後ドアと、下のボディの損傷



フロントフェンダーとドアの損傷

ご本人がコイン洗車である程度、泥を落とされたらしいですが下を覗くと全然取れてません...エアコンも効かなくなっていました。

へこみを直すよりリサイクル品(中古)に交換したほうが安いので、状態の良いドア3枚を取り寄せました。



大きなキズがないので、磨いてそのまま取り付けられそうです。



ライトなど諸々の部品を取り外し、リフトアップして下廻りやエンジンの泥をジェット洗浄しました。只今、乾燥中。

各ドアと共に、フェンダー(タイヤの上のボディ部品)もリサイクル品に交換。ドア下のボディ部分は板金にて修理。



これも一つの災害ボランティアということで格安にて修理させていただきました。これからも長く乗ってあげてください。

すべらないタイヤの話

そろそろ準備を始めたいスタッドレスタイヤですが、夏タイヤとの違いを知らない人も多いのでは?そこで、「夏タイヤ」と「スタッドレスタイヤ」の違いについて解説します。



金属ピンが刺さっているスパイクタイヤは、今やラリーレースカー用

昔はスノータイヤといえばピン(スタッド)が付いているスパイクタイヤが主流でした。しかし、このスタッドが道路にキズを付けたり、粉塵を発生させるのが問題となり、今では「スタッドがないタイヤ」つまり「スタッドレスタイヤ」に移行したというわけです。1982年に、タイヤメーカーであり、あのガイドブックで有名な「ミシュラン」より世界初のスタッドレスタイヤが日本で販売開始されました。

スタッドレスタイヤと夏タイヤとの大きな違いは、タイヤの表面に **サイブ** と呼ばれる細かい溝が刻まれていること。これが凍った路面に食い込むことで、滑らないようにしています。また、低い温度で使うことを前提としているためゴムはとて柔らかく、吸水性に優れた素材を使用することで、氷とタイヤの間にできる水分を吸収し、路面をガッチリと掴むんです。



↑夏タイヤに【サイブ】はありません
←ギザギザに波打ってる溝溝が【サイブ】

それと意外と知らないのが **新品タイヤには慣らし運転が必要**だということ。スタッドレスに限らず、新品タイヤの表面には油分が付いていてそのままでは本来の性能を発揮できないんです。そこで慣らしが必要となるわけですが、乾いた路面を100~150kmほど走るのがおおよその目安です。冬タイヤなら、なおさら慣らし運転したほうがいいですね。

以上をご理解いただいた上で、現在何年も使った冬タイヤをお持ちなら、一度ユウシンへご相談ください。残り溝や経年数をチェックし、交換が必要そうならアドバイスさせていただきます。この事前準備を、雪が降ってから慌てず冬タイヤへの交換ラッシュにあたり、よく出る軽自動車用のサイズが売り切れたこともありましたよ。

ユウシンで購入された方の特典で、冬タイヤを格安保管させて頂いている方へは、預かりタイヤをチェックして個別にご連絡させていただきますのでご安心ください。

タイヤ保管サービス 税別2,000円~/半期 (アルミホイールなら3,000円~)

新たに購入頂く方も是非ご利用ください。重いタイヤを持ち運ばなくていいのでラクチンですよ~

よく聞かれるのが、どのメーカー(ブランド)の冬タイヤがいいのか?という質問。

新品1年目は、ハッキリ言ってどのメーカーも違いが分からないと思います。3年使って違いが出る感じです。「ブリヂストン」や「ミシュラン」がトータルバランスがいいと言われますが、如何せん価格が高い...。他にも「ダンロップ」「ヨコハマ」などユウシンではどのメーカーも販売しておりますが、**一番オススメはとっても費用対効果が高い「グッドイヤー」!** 広島各トヨタディーラーもイチオシしていますしもちろん性能は上位メーカーに引けを取りません。



アイスナビ GOODYEAR ICE NAVI

←イメージビデオでもトヨタ車が使われています

オートボックスなんかのチラシに出ているアジアメーカーの激安タイヤは、2年目以降に効き目がガクンと落ちるので、絶対履かないように(笑) ユウシンでは、中古の冬タイヤもホイールも在庫がありますよ。「溝がますますあるなら、安い中古でもええわ」という方はお問い合わせください。(2,000円/本~)

とにかく12月に入ったら、雪が降っても降らなくても、交換がベスト!

最後にこの格言、覚えておいてください。

安全運転こそ最高のテクニック

by ワイン・ガードナー(元バイクレサー)

車の性能やタイヤへの依存、過信は禁物です。冬タイヤだろうが滑る時は滑りますよ。

急発進 急ハンドル 急ブレーキ



082-263-0463
082-264-0324
yushin@hicat.ne.jp
〒732-0055 広島市東区東蟹屋町17-13
ユウシン自動車工業株式会社



店舗情報、中古車在庫が見れます。携帯電話でQRコードを読み込んでご覧下さい。

ユウシン自動車 検索